

NO25

竹永陸軍特攻用飛行場跡

所在地は三重郡菰野町永井（三交バス福王山行池底下車徒歩10分）



菰野町清掃センターの近く、テレビ塔が立っている丘には竹永陸軍特攻用飛行場の指揮所用防空壕が2つ残っています。

1945年、中京圏の防空強化のため、現在の菰野町永井・竹成（旧三重郡竹永村）の地に特攻用飛行場が建設されました。

竹永小学校正門前から大和ハウス工場付近まで約1500メートルの滑走路が作られましたが、実際に使用する前に終戦となりました。飛行場を作るための広大な用地を陸軍はかなり強引に接収したようです。

現在は滑走路は跡形もなく、田畑や住宅地など平和な風景がひろがっていますが、防空壕はたしかに戦争があったことをわたしたちに伝えてくれます。

20060505 掲載